

令和4年度浜名湖外来植物等調査の結果について

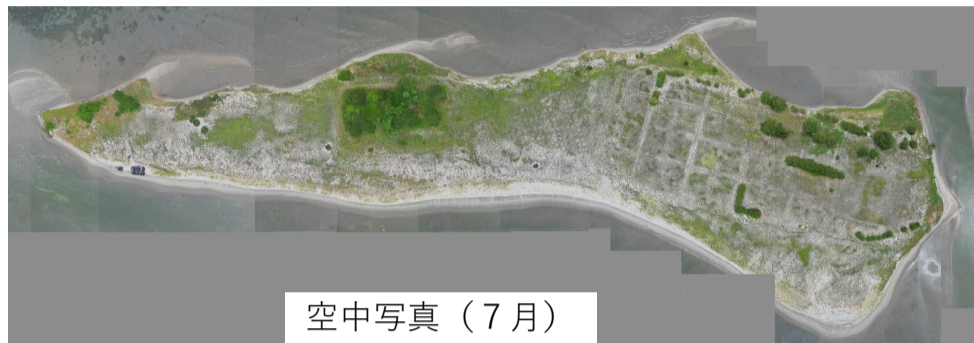
1 浜名湖に生育する植物の調査について

海水と淡水が混じり合い、豊かな生態系を有する浜名湖の河口に位置する浅瀬「いかり瀬」は、「ハマヒルガオ」や「ハマボウフウ」などの、海浜特有の在来植物が生育しています。

ところが、近年になり、地域の団体が特定外来生物の「ナルトサワギク」の侵入を確認し、在来植物の生育地を奪う恐れが出てきたことから、除去作業を行うようになりました。

「いかり瀬」の生物多様性を保全するためには、どのような在来植物と外来植物が生育しているかを把握し、在来植物の脅威となる外来植物が確認されたら、除去することが必要です。このため、令和4年度から静岡県が浜名湖における植生の分布を確認するための調査を開始し、今年度は「いかり瀬」を調査しました。

※外来植物とは、人間の活動によって持ち込まれた、本来はそこに生息しない植物のこと



空中写真（7月）



「いかり瀬」の植生の状況



2 調査結果

(1) 在来種：74種類（うち海浜植物23種類※）

※『フィールド版日本の海岸植物図鑑』（2020中西弘樹）に掲載されている種類を海浜植物とします。

時期	植物の開花時期（5月、7月、9月）
内容	(1) 植物分布調査（5月、9月） 貴重な植物及び外来植物の生育状況及び分布状況を把握するための調査 (2) 植生図作成調査（7月） 浜名湖いかり瀬の自然環境の特徴を把握するとともに、外来植物等の侵入により生じる影響をモニタリングするため植生図を作成
結果 (速報)	全確認種数 126 種（在来植物 74 種、外来植物 52 種） <外来植物 52 種のうち> (1) 特定外来生物（特定外来生物法指定）2 種、（ナルトサワギク、アレチウリ） (2) 生態系被害防止外来種リスト掲載種 27 種 ① 特定外来生物（植物）：2 種（ナルトサワギク、アレチウリ） ② 生態系被害防止外来種リスト掲載種：27 種 総合対策外来種（緊急）：2 種（ナルトサワギク、アレチウリ） 総合対策外来種（重点）：8 種（コマツヨイグサ、セイタカアワダチソウ、シナダレスズメガヤ） 総合対策外来種（その他）：12 種（オオフトバムグラ、カバギシギシ） 産業管理外来種：5 種（ネズミムギ、ホソバノコ） (3) 調査において広範囲で生育が確認された種 オオフトバムグラ、コマツヨイグサ、ネズミムギ、セイタカアワダチソウ、シナダレスズメガヤ



ハマヒルガオ



ハマボウフウ



ハマエンドウ



コウボウシバ

- ① 「特定外来生物」：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に定められた、特に自然への悪影響が心配されるもの
- ② 「生態系被害防止外来種リスト」：環境省等が、特に注意が必要な外来種を明確にし、適切な行動を呼びかけ、生態系等への被害を防止するために発表しているリスト。日本及び海外等での被害状況を踏まえ、日本における侵略性を評価し、「総合対策外来種」「産業管理外来種」「定着予防外来種」に区分されている

(2) 外来植物のうち、特定外来生物に指定されている種類（2種類）及び生態系被害防止外来種リストに掲載されている種類（27種類）

No.	科名	種名		調査時期			特定外来生物	生態系被害防止外来種
		和名	学名	5月	7月	9月		
1	ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	●	●	○	●	緊急対策
2	キク科	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i>	●	●	○	●	緊急対策
3	クサスギカズラ科	アツバキミガヨラン	<i>Yucca gloriosa</i>	●	●	●	●	重点対策
4	イネ科	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	●	●	●	●	重点対策
5	アカバナ科	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	●	●	●	●	重点対策
6	ハマミズナ科	バクヤギク	<i>Carpobrotus edulis</i>	●	●	●	●	重点対策
7	サボテン科	ウチワサボテン	<i>Opuntia ficus-indica</i>	●	●	●	●	重点対策
8	クマツヅラ科	シチヘンゲ	<i>Lantana camara ssp. aculeata</i>	●	●	●	●	重点対策
9	キク科	オオフトクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	●	●	●	●	重点対策
10		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	●	●	●	●	重点対策
11	ユリ科	シンテツポウユリ	<i>Lilium x formolongo</i>	●	●	●	●	その他
12	バラ科	トキワサンザシ	<i>Pyracantha coccinea</i>	●	●	●	●	その他
13	トウダイグサ科	ナンキンハゼ	<i>Triadica sebifera</i>	●	●	●	●	その他
14	アオイ科	フヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i>	●	●	●	●	その他
15	タデ科	ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>	●	●	●	●	その他
16	ナデシコ科	マンテマ	<i>Silene gallica var. quinquevulnera</i>	●	●	●	●	その他
17	アカネ科	オオフトバムグラ	<i>Hexasepalum teres</i>	●	●	●	●	その他
18	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i>	●	●	●	●	その他
19		ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>	●	●	●	●	その他
20	キク科	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	●	●	●	●	その他
21		ケナシヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron pusillus</i>	●	●	●	●	その他
22		オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>	●	●	●	●	その他
23	イネ科	ネズミホソムギ	<i>Lolium x hybridum</i>	●	●	●	●	産業管理
24		ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	●	●	●	●	産業管理
25		ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>	●	●	●	●	産業管理
26		ホテイアユク	<i>Phyllostachys aurea</i>	●	●	●	●	産業管理
27		オニウシノケガサ	<i>Schedonorus phoenix</i>	●	●	●	●	産業管理

○特定外来生物（植物）



ナルトサワギク



アレチウリ

○生態系被害防止外来種リスト掲載種（植物）



オオフトバムグラ



シナダレスズメガヤ



シチヘンゲ



アツバキミガヨラン

3 外来植物の区分について

○静岡県内で確認されている
特定外来生物（植物）



○生態系被害防止外来種リスト（植物）（環境省・農林水産省作成）

ここがポイント！「生態系被害防止外来種リスト」

1. 例に照らすリストですか？
2. 外来種について、日本及び海外等での生態系への被害状況を踏まえ、日本における被害状況を評価し、リスト化したものです。[能合対策外来種]・[産業管理外来種]・[定着予防外来種]のカテゴリに分類されています。

3. 生態系被害防止外来種リストを構成した目的は何か？
4. 多くの外来種の中から、特に注意が必要な外来種を明確にするには、リスト化することが重要です。リスト掲載種について、適切な管理を呼びかけることで、生態系等への被害を防止することを目的としています。

5. 掲載種は輸入や国内移動が規制されているものですか？
6. 外来生物法に基づいて輸入や国内移動が規制されている種や特定外来生物も含めて含まれています。それら以外の掲載種については、外来生物法の規制はありませんが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、放さない」の遵守など、規制以外には注意が必要です。

カテゴリ区分 合計 **429** 種

総合対策外来種 (総合的に対策が必要な外来種) 316 種
国内に定着が確認されているもの、生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、防除、退避、導入・流出防止等のための被害防止策など総合的に対策が必要。

緊急対策外来種 1 種
対策の緊急性が高く、種別の区別を行う必要がある。

重点対策外来種 1 種
重大な被害が予想され、対策の必要性が高い。

その他の総合対策外来種 1 種

産業管理外来種 (適切な管理が必要な産業上重要な外来種) 1 種
産業又は公益性において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては適切な管理が必要。

定着予防外来種 (定着を予防する外来種) 101 種
国内に未定着のもの、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への漏れは、定着の防止、発生した場合の早期駆除が必要。

侵入予防外来種 1 種
国内に導入されていない種、導入の防止、水際の監視等により侵入を未然に防ぐ必要がある。

その他の定着予防外来種 1 種
国内に導入されているが、自然駆除における定着は確認されていない種。

生態系被害防止外来種リスト 平成28(2016)年3月31日現在

種別	種名	学名
総合対策外来種	オオハongoウソク	Hydrocotyle bonariensis
総合対策外来種	ナルトサワギク	Chromolaena odorata
総合対策外来種	オオキンケイギク	Coreopsis grandiflora
総合対策外来種	オオカワヂシャ	Albizia julibrissin
総合対策外来種	ナガエツルノゲイトウ	Ipomoea pes-caprae
総合対策外来種	アレチウリ	Celastrus scandens
総合対策外来種	アノラ・クリスタータ	Anemone pulsatilla
総合対策外来種	ミズヒマワリ	Helianthus annuus
総合対策外来種	ボタンウキクサ	Impatiens capensis
総合対策外来種	オオアサモ	Asarum canadense
緊急対策外来種
重点対策外来種
その他の総合対策外来種
産業管理外来種
定着予防外来種
侵入予防外来種
その他の定着予防外来種

生態系被害防止外来種リスト 平成28(2016)年3月31日現在

種別	種名	学名
総合対策外来種
緊急対策外来種
重点対策外来種
その他の総合対策外来種
産業管理外来種
定着予防外来種
侵入予防外来種
その他の定着予防外来種

左：静岡県特定外来生物リーフレットの植物部分を抜粋

<http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-070/wild/documents/shizuoka-leaflet-invasive-alien-species.pdf>

右：生態系被害防止外来種リストの植物部分を抜粋（環境省HP）

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html>

4 今後の対策

- 特定外来生物である「ナルトサワギク」と「アレチウリ」は、発見したら、種子等が拡がらないように注意して除去する必要があります。
- 生態系被害防止外来種リスト掲載種には、広範囲に分布している種や大きく成長している種もあり、除去、根絶には多大な労力が必要となるため、優先順位を決める必要があります。
- 外来植物を除去するには、この状況を多くの方に知っていただき、取組の輪を広げていく必要があります。このため、環境保全に関心のある企業やボランティア団体などとの連携を図りながら、継続的な活動につながる取組を進めてまいります。